

平成 18 年 11 月 20 日

森ビル株式会社

森ビル株式会社 平成 19 年 3 月期中間決算のお知らせ

森ビル株式会社の平成 19 年 3 月期中間決算がまとまりましたのでお知らせいたします。

なお、詳細は添付資料をご参照ください。

■連結業績概要

	(単位:百万円)				
	前中間期 (H17.4.1～9.30)	当中間期 (H18.4.1～9.30)	増減(率)		H19.3期通期 予想
営業収益	71,117	80,450	9,333	(13.1%)	158,000
営業利益	14,054	25,388	11,334	(80.6%)	42,000
経常利益	7,058	18,429	11,371	(161.1%)	28,000
中間(当期) 純利益	3,952	9,728	5,776	(146.2%)	14,000

- 当中間期の「営業収益」は、804 億円と対前中間期比で 93 億円 (13.1%) の増収。また、「営業利益」は、同比 113 億円 (80.6%) の増益で 253 億円を計上。
- 「賃貸管理事業収益」は、既存ビルの高稼働維持および賃料水準の上昇とともに、前期竣工した表参道ヒルズの収益貢献などが寄与し、対前中間期比で 50 億円 (10.4%) の増収。
- 「不動産販売事業収益」は、7 億円を計上。
- 「請負工事業・設計監理事業収益」は、既存ビルの高稼働により内装工事受注機会減少の影響があるものの 19 億円を計上。
- 「ホテル事業収益」は、グランドハイアット東京が、一部改装を実施しながらも引き続き高稼働を維持し、対前中間期比で微増 (0.6%) の 72 億円を計上。
- 「ソフト事業収益」は、六本木ヒルズを中心として 24 億円を計上。
- 「関連事業収益」は、私募ファンド関連の運用に係る収益の計上などにより、対前中間期比で 66 億円 (82.0%) の増収。
- 「営業利益」の増益を受けて、「経常利益」「中間純利益」ともに、対前中間期比で、それぞれ 113 億円 (161.1%)、57 億円 (146.2%) の大幅増益。

■連結業績予想

当中間期の業績は、平成 18 年 6 月 8 日に公表いたしました通期見通しに対し順調に推移しております。通期予想につきましては、「営業収益」が不動産販売収益に係る会計上の表記方法の変更により減少していますが、その他「営業利益」「経常利益」「当期純利益」につきましては、当該予想数値からの変更はありません。

＜添付資料＞

平成 19 年 3 月期中間決算概要

※ なお、当資料は、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会に配布しています。

＜注意事項＞

1. 当中間期及び前中間期の連結業績については、公認会計士の監査は受けておりませんが、財務諸表等規則、連結財務諸表規則に基づいて作成しております。
2. 本資料および添付資料記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における過程を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

森ビル株式会社 広報室

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp